

地方創生と学校建築のあり方

近年、我が国では前代未聞の少子高齢化が各地で進行し、地方創生が大きな課題になっています。都市化された街が空洞化し、地域社会の維持もままならず、災害に対する脆弱性も露呈し、人材の育成や確保が問われています。そのような地方創生において、学校は、将来を支える子供達の育成の場であり、コミュニティの維持、災害時の拠点などの様々な観点で地域のまちづくりの中心です。そして、学校建築は、単なる建物の世界を超えて、子供達の記憶を作る器として機能することも求められています。

今回講師を務めていただく工藤和美先生は、学びの場の建築設計の専門家として、これまで多くの建築設計を手がけてきました。「山鹿市立山鹿小学校」で JIA 日本建築大賞を受賞し、国の社会資本整備審議会委員なども歴任されています。本講演会では、その経験の表と裏を語っていただきながら、地方創成と学校建築のあり方について議論を深めたいと思います。

日時：平成 29 年 2 月 2 日 (木) 15:30~19:30

場所：佐賀大学 地域連携デザイン工房 (理工学部 1 号館)

第一部 15:30~17:00

特別講演 「地方創生における学校建築のあり方」

講師 工藤 和美 氏

シーラカンズ K&H 株式会社代表取締役 / 東洋大学理工学部建築学科教授



工藤 和美 / Kazumi KUDO

プロフィール 1960 福岡市出身
1983 IAESTE スイス研修留学
1985 横浜国立大学建築学科卒業
1986 シーラカンズを共同で設立
1987 東京大学大学院修士課程修了
1991 東京大学大学院博士課程修了
1998 シーラカンズ K & H に改組
現在 代表取締役 / 東洋大学建築学科教授

出版物 『学校をつくろう！子どもの心がはびく空間』 TOTO 出版
『学校を変えよう！』 監修 エクスナレッジ
『図書館をつくる』 彰国社

第二部 17:30~19:30

3 年生有志による設計演習作品発表講評会

「地域に根ざす小学校」

主催：佐賀大学大学院工学系研究科都市工学専攻

共催：コミュニティ・デザイン・クラブ | 日本建築学会九州支部佐賀支所 | 低平地研究会・都市空間専門部会